

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科 医療栄養学科																
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数																
18014	2	後期	選択	1	15																
授業科目名 (英文)	家族社会学 (Family sociology)																				
担当教員名	豊田 英敏																				
授業の概要及び到達目標																					
<p>○授業の概要 家族社会学の古典的な学説における家族の定義、概念、構造、機能などを概観し、次にライフサイクルの視点から配偶者選択、結婚、子どもの社会化、親の扶養などの各論について検討する。適宜、現代的なトピックや諸説についても触れる。</p> <p>○到達目標 家族をとらえる基本的な概念がわかる。個人と家族、家族と外部の関係、家族を支える社会的ネットワークについて理解しようとし、自ら調べ、意見を述べるができる。</p>																					
準備学習等																					
<p>・事前にテキストを読み、要点をノートにまとめ理解しておくこと。各回の関連部分は以下の通りである。</p> <p style="text-align: right;">事前・事後学修時間</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">第1回：ガイダンス・家族の概念レポート記述</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第2回：家族分析の手がかり-類型と分類-、家族の内部構造 (pp. 9-18, 89-122)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第3回：青年期の異性交際、配偶者の選択 (pp. 19-42)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第4回：結婚の意味と機能、離婚、その後 (pp. 43-64)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第5回：人の一生と家族の危機 (pp. 65-88)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第6回：家族機能と社会的支援 (pp. 123-156)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第7回：家族の変動 (pp. 157-186)</td> <td style="text-align: right;">1時間</td> </tr> <tr> <td>第8回：まとめ 今後の家族の展望 「レポート」</td> <td style="text-align: right;">2時間</td> </tr> </table> <p>・授業時に配布する資料も活用すること。ノートに要約を記し、自分の考察を書き加えておくとよい。</p> <p>・毎回、キーワードを中心に課題を示すので学習しておくこと。最終レポートはこの中から主に出題される。</p> <p>・第1回に配布する「シャトルカード」は、毎回の授業での学習内容と考察を記入し提出すること。</p> <p>・適宜、討論を行うので、積極的に参加することが望ましい。</p>						第1回：ガイダンス・家族の概念レポート記述	1時間	第2回：家族分析の手がかり-類型と分類-、家族の内部構造 (pp. 9-18, 89-122)	1時間	第3回：青年期の異性交際、配偶者の選択 (pp. 19-42)	1時間	第4回：結婚の意味と機能、離婚、その後 (pp. 43-64)	1時間	第5回：人の一生と家族の危機 (pp. 65-88)	1時間	第6回：家族機能と社会的支援 (pp. 123-156)	1時間	第7回：家族の変動 (pp. 157-186)	1時間	第8回：まとめ 今後の家族の展望 「レポート」	2時間
第1回：ガイダンス・家族の概念レポート記述	1時間																				
第2回：家族分析の手がかり-類型と分類-、家族の内部構造 (pp. 9-18, 89-122)	1時間																				
第3回：青年期の異性交際、配偶者の選択 (pp. 19-42)	1時間																				
第4回：結婚の意味と機能、離婚、その後 (pp. 43-64)	1時間																				
第5回：人の一生と家族の危機 (pp. 65-88)	1時間																				
第6回：家族機能と社会的支援 (pp. 123-156)	1時間																				
第7回：家族の変動 (pp. 157-186)	1時間																				
第8回：まとめ 今後の家族の展望 「レポート」	2時間																				
成績評価の方法	最終レポート (50%) 課題レポート・提出物 (30%) 授業への参加態度 (20%)																				

テキスト	森岡清美・望月嵩『新しい家族社会学』四訂版、培風館、1997年
参考図書	授業時に適宜紹介する。
備考	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 オフィスアワーは desknet's の一覧を確認すること。
授 業 計 画	
第1回	ガイダンス、本講義の目標・進め方 家族をどう捉えるか（レポート作成・協議）
第2回	家族の種類、分類、家族の内部構造 家族関係、核家族・複合家族・拡大家族、生殖家族と定位家族、 夫婦家族制・直系家族制・複合家族制と産業・社会の特質 家族の種類・典型・分類、家族における地位と役割、役割期待・認知・遂行
第3回	結婚への道 セックス・ジェンダー・セクシュアリティ、異性関係の発達、若者文化デイト、 配偶者選択のメカニズム、配偶者選択の過程、発達課題
第4回	結婚の意味と機能 結婚の意味、社会的承認、結婚の機能、結婚の分類、現代日本の結婚、 離婚の意味、日本の離婚の動向、再婚の状況
第5回	人の一生と家族の危機 家族と社会化、親子関係と社会化、社会化の過程、現代家族の問題点 日本の習俗（人生儀礼）にみる子どもの社会化（出産・育児・子ども観）
第6回	家族機能と社会的支援 子どもの養育と社会化 老年期への移行、欲求構造と扶養、同居・近居・遠居、老親扶養の動向、 諸外国の場合、自立志向と社会的扶養
第7回	家族の変動 家族形態の変化、家族機能の変化 家族のゆくえ
第8回	まとめと振り返り 「既習の学修内容をもとに、今後の家族のあり方を展望し、学修のまとめ としてレポートにまとめる。」